

Title	歐羅巴地誌(有賀春雄著, 刀江書院發行)
Sub Title	
Author	犬塚, 久雄(Inuzuka, Hisao)
Publisher	三田史学会
Publication year	1937
Jtitle	史学 Vol.15, No.4 (1937. 2) ,p.189(701)- 189(701)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19370200-0189

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

物であり、此の良書を世に呈上せられた遺族及び同僚諸氏の好意に衷心より感謝しなければならぬ。(松本信廣)

歐羅巴地誌 (有賀春雄著) (刀江書院發行)

今日の歐羅巴が、單に歐羅巴人の歐羅巴ではなく、世界人の歐羅巴であることは何人も認める所である。今日、歐羅巴の一角に發生する事件は、直ちに全世界の利害に重大なる關係を及ぼすのである。されば、昨日の歐羅巴を省みて、以つて今日の歐羅巴を認識し、更に進んで明日の歐羅巴に思を致すことは吾人の當然なすべき任務であらう。

此の觀點に立つて、本書を公にせられた著者の努力に對して敬意を表するものである。元來歴史家である著者の本書中に於ける苦心は充分に認められる、それは從來の所謂地誌類に例を見ぬ程度に、多分に史的考察を行つて居ることである。孰れの大陸の國家にもせよ、その地域の自然的現象を第一に、しかも充分に、究めることは地誌作成上勿論必要ではあるが、その國の文化發展の段階を念頭に置かぬ時は、その地理學的全要素を完全に把握せるものとは言ひ難いのである。その點、歴史家としての著者の立場は有利である。純粹の自然地理學者の立場よりすれば、その地的敘述に對しては多少の不足を感じる向もあらうが、著者もその序に言へる如く、本書が地理學を專攻するに非ざる一般學生或ひは一般讀書人を對象とすることを思へば、寧ろ史的考察にその特色ある點を尊重すべきであらう。

本書内容は、之を第一章總説、第二章西部ヨーロッパ、第三章中部ヨーロッパ北部の(一)、第四章中部ヨーロッパ北部の(二)、第五章中部ヨーロッパ南部、第六章東部ヨーロッパ、第七章地中海沿岸諸國の全七章に分ち、各章を見るに、必ずしも地理的區分に従ふことをせず、地形的、氣候的に區分されて居る。要するに歐羅巴を縦に三分して西部、中部、東部となし、之に地中海諸國を加へたのであるが、スウェーデン、ノールウェー、デンマーク等の國家に對しては、從來の「北部ヨーロッパ」なる區分を與へ且つ寫眞を挿入してはと思はれないでもない。

然し、一般の記述の懇切を極めたること、加ふるに多數の適切なる地圖を隨所に參照されたことは特に本書の價値を大ならしめる所以である。

之を要するに、著者がよく現在世界の情勢を會得せられて、その最も中心舞臺である歐羅巴の知識を比較的平易に示されたことに深く敬意を拂ふと共に、歐羅巴の今後の推移に關心を有つ世人一般に是非一讀を奨むる次第である。内容本文三〇〇頁。定價二圓二十錢。(犬塚久雄)

日土大辭典 (日土協會編)

國際間の交渉は益々頻繁となりつゝある、且つアジャの東西に強大なる獨立國をなす日土の兩國は、文化的交渉及び通商貿易に於ても次第に密接の度を加へつゝあるが、それなのに今日に至るまで未だ兩國語を以て直接意志を疏通するまでに至つてゐなかつ